

セメント系補修材シリーズ

コンクリート欠損部充てん補修用カチオン性ポリマーセメントモルタル



ボンドカーボニックセメント

●カーボンファイバー配合特殊セメント系補修材

カーボニックセメントは、コンクリート構造物補修用のカチオン性ポリマーセメント補修材です。カーボンファイバーを配合した速硬化型プレミックスモルタルのため、従来のモルタル系補修材では得られなかった耐久性と強さをあわせ持ち、作業性にも優れています。

JAIA-003977 F☆☆☆☆

■用途

充てん補修：中性化による露出鉄筋、カブリ不足部分の充てん補修。
RC構造物、PCa板の欠損部充てん補修。ジャンカ、打継ぎ部分の補修。
下地調整：タイルはり、防水、ライニングの下地調整およびかさ上げ補修。
埋め戻し：箱抜きアンカーなどの埋め戻し。

■特長

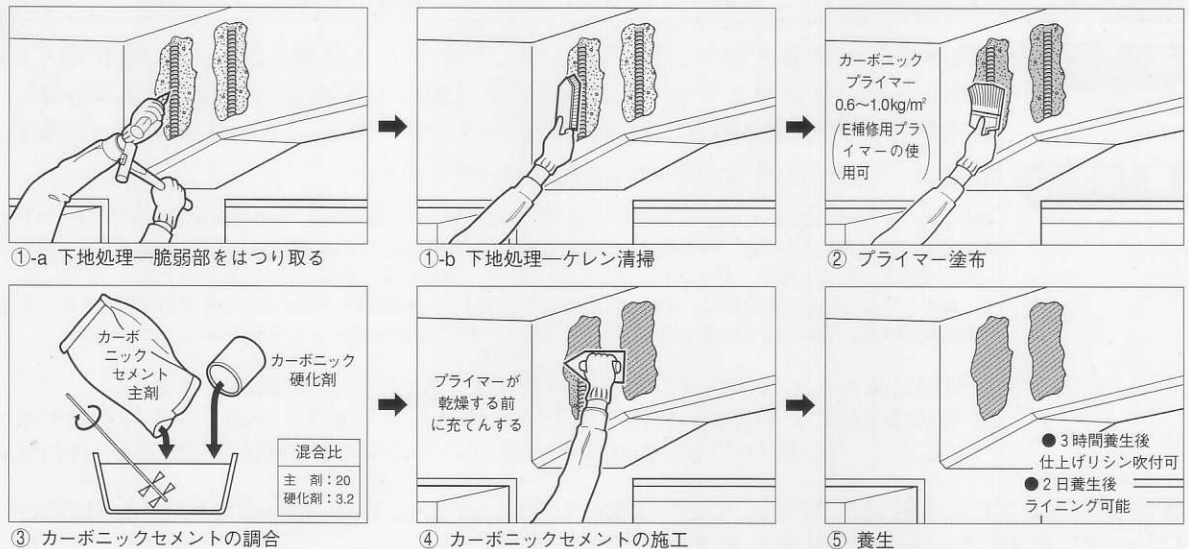
速硬化：短期間での仕上げが可能です。また、湿潤面への施工も可能です。
高強度：カーボンファイバー入りで、コンクリート構造物と同等の強度があります。
カチオン性：広範囲の下地材に対する接着性に優れます。
防錆剤配合：防錆剤入りのカーボニックプライマーは、鉄筋の再腐蝕防止に効果があります。

■性状

項目	カーボニックセメント		カーボニックプライマー	
	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
主成分	カーボンファイバー配合速硬化型プレミックスセメント	カチオン性SBR系樹脂	防錆剤配合プレミックスセメント	カチオン性SBR系樹脂
外観	灰色粉体	乳白色エマルジョン	灰色粉体	乳白色エマルジョン
混合比	主剤：硬化剤＝20：3.2（質量比）		主剤：硬化剤＝5：3.2（質量比）	
比重(混合物)	2.00±0.20		1.80±0.20	
可使時間	約40分（20℃）、約20分（30℃）		約60分（20℃）、約30分（30℃）	

※数値は規格値ではありません。

■施工方法



- 直射日光が当たるような下地温度の高い所では、水打ちをして表面温度を下げしてから施工してください（ドライアウト防止）。
- 原則として3℃以上の環境でご使用ください。凍結したり硬化性に問題が生じる場合があります。
- 皮フや器具類に付着したものは、乾く前に水でよく洗い落としてください。
- 打ち放し仕上げでは降雨等により表面にエフロレッセンス（白化減少）が生じる場合があります。

技術データ

1. カーボニックセメント硬化物の性能規格 (社内規格値)

試験項目	規格値	試験方法
比重	2.00±0.20	JIS A 1171-2000
圧縮降伏強さ (N/mm ²)	25以上	JIS R 5201-1997
圧縮弾性率 (N/mm ²)	1.6×10 ³ 以上	JIS R 5201-1997
曲げ強さ (N/mm ²)	8.0以上	JIS R 5201-1997
接着強さ (N/mm ²)	1.5以上	JIS A 6203-2000

※養生：20±1℃、(65±5) %、28日間

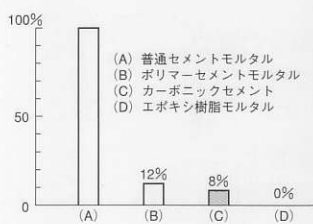
2. カーボニックセメントの材令強さ (測定値例)

試験項目	材令	6時間	1日	7日	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	2年	試験方法
圧縮降伏強さ (N/mm ²)		7.8	14.7	24.7	29.2	33.1	39.7	40.2	40.5	JIS R 5201-1997
曲げ強さ (N/mm ²)		2.0	4.9	9.1	10.0	13.4	14.7	14.9	15.2	JIS R 5201-1997
接着強さ (N/mm ²)		0.67	1.17	1.78	2.41	2.49	2.61	2.62	2.62	JIS A 6203-2000

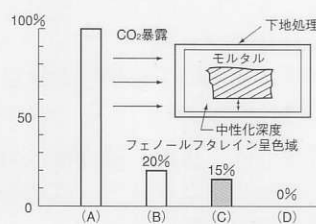
※養生：20±1℃、(65±5) %

3. 諸性能 (測定値例)

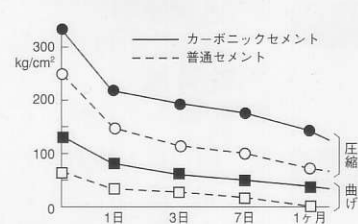
●透水性比較



●中性化進行率



●耐塩酸性



積算例

1. カーボニックセメントの使用量の目安

塗り厚 (mm)	10	20	30	1 m ³ (1000 L) 当たりの質量	1 セット (23.2kg) 当たりの容量
1 m ² 当たりの容量 (L)	10	20	30	約2000kg (約87セット)	約12L
1 m ² 当たりの質量 (kg)	約20.0	約40.0	約60.0		

2. プライマーの使用量の目安

品名	カーボニックプライマー(防錆用)	E200(中性化防止用)	E補修用プライマー(防錆用)
1 m ² 当たりの塗布量 (kg)	0.6~1.0	0.4~0.6	0.4~0.6
備考	無機質系標準プライマー	エポキシ樹脂系標準プライマー	エポキシ樹脂系プライマー

梱包容量

- カーボニックセメント：23.2kg [12L] セット (主剤：20kg袋、硬化剤：3.2kg缶)
- カーボニックプライマー：8.2kgセット (主剤：5kg袋、硬化剤：3.2kg缶)
- ※主剤と硬化剤は別梱包。硬化剤はカーボニックセメント・プライマーとも共通。

注意事項

本品は、下記の注意事項を守って取り扱ってください。

- 取り扱い中は皮フにふれないように注意し、必要に応じて保護具を着用する。
- 容器からこぼれないように出し入れする。
- 硬化剤が容器からこぼれた場合には、砂を散布したのち処理する。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。
- 皮フに付着した場合にはすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。
- 眼に入った場合には多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受ける。
- 誤って飲み込んだ場合には、早急に医師の診察を受ける。
- 温度が2~40℃の場所を定めて保管する。硬化剤は凍結に注意し使用後は密封する。主剤は湿気のある場所での保管を避け、また開封後は速やかに使い切る。

※使用にあたっては、製品安全データシート (MSDS) をお読みください。

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願いいたします。(記載の性状等は2003年7月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。)

国際単位系 (SI) による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10⁻²J、1MPa=1N/mm²です。1N/mm²は約10.2kgf/cm²に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社

ボンド事業本部

本部 / 大阪市中央区平野町2-1-2 (沢の鶴ビル) 〒541-0046 TEL06(6228)2961 FAX06(6228)2927
 東京支店 / 東京都千代田区神田錦町2-3 (竹橋スクエア) 〒101-0054 TEL03(5259)5737 FAX03(5259)2144

名古屋支店 TEL052(262)8173 FAX052(262)8175
 福岡支店 TEL092(551)1764 FAX092(551)1545
 札幌支店 TEL011(612)0211 FAX011(612)0219

仙台営業所 TEL022(211)5031 FAX022(211)4990
 北関東営業所 TEL027(324)3002 FAX027(324)1187
 厚木営業所 TEL046(229)9610 FAX046(229)9636

金沢営業所 TEL076(223)1565 FAX076(223)4794
 広島営業所 TEL082(507)1911 FAX082(507)6676
 高松営業所 TEL087(835)2020 FAX087(835)4623

EテW01-06



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

カーボニックセメント 1996.11. 5000(O)51-FD
 2002.11. 5000(T)31-FD
 2003. 7.10000(T)15-FD